

ちどり幼稚園保護者様

学校法人川尻学園ちどり幼稚園
園長 佐藤恒次

自己評価の実施について

令和8年2月17日、ちどり幼稚園会議室に於いて学校関係者評価委員会による評価を実施したところ、下記のような結果になりましたので、報告いたします。

令和7年度教育活動に対する学校評価

1. 幼稚園の教育目標 心豊かでたくましい子
2. 本年度の重点目標 “5つのいっぱい”と“育てたい10の力”を関連づけながら『外』と『内』の活動を深める
3. 自己評価と反省、また、それに対する学校関係者評価及び今後の課題

幼稚園経営

A はい B だいたいあてはまる C あまりあてはまらない D いいえ

	内 容	職員	評価委員
1	園の教育理念や教育方針を理解している	A	A
2	活動に具体的なねらいを設定し、子どもたちが達成感を感じながら取り組めるよう指導している	B	A
3	相手の思いに気づいたり、周囲の人に感謝できる子が育つよう関わりを心がけている “廊下を走らない”姿を、思いやりの気持ちと関連づけながら具体的に指導している	B	A
4	子どもたちの“不思議”への気づきや、発見へのきっかけづくりができるよう環境を工夫し、意図的なはたらきかけを行うとともに“ちどりっこ農園”“ビオトープ”“広場”などの自然体験を通した活動を積極的に取り入れている	B	A
5	元気よくあいさつできる子が増えるよう積極的にはたらきかけている	A	A
6	食べ物に興味をもち、楽しく食事ができるような雰囲気づくりを心がけている	A	A
7	分掌において自分で考え積極的に取り組むことができる	B	B

反省	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が楽しく過ごせるように声かけをしたり、挨拶をしたりしてきた。 廊下を走らないというルールを知っていても、走ってしまうため、声をかけてきた。 あいさつに関する話や絵本を子ども達に聞かせながら意識がもてるようにしてきたが、クラス以外の場所や人になると恥ずかしがる子もいたため今後も声をかけていきたい。 具体的なねらいを立て保育に取り組んできているつもりだったが、ねらいや、できるようになってほしいという思いが強くなってしまい反対にうまくいかないことが多かったり、指導することが多くなってしまいうように感じた。
評価	<ul style="list-style-type: none"> 研究保育の様子を見ていると、子ども達にしっかりと指示が通っていると感じる。子ども達も、とても楽しく活動に取り組んでいたのが良かった。 具体的なねらいを持って取り組んでほしい。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 保育者、一人ひとりが意識して、子ども達と関わりを持つことが大切である。

保育の計画性

	内 容	職員	評価員
1	子どもたちの姿を教育目標に近づけるために、願いや意図を明確にして環境構成をしている	B	A
2	保育の評価・反省を行い、次の保育につなげている	B	A
反省	<ul style="list-style-type: none"> いろいろなことをもっと早目に準備して自分自身が落ち着いて保育をやるようにしていきたいと感じた。 環境構成はもっとも大事だと分かっているが、自分の仕事配分がうまくいかず、やれないことが多く感じた。 やらなければならないことが多く、計画的に進められなかった。もう少し余裕をもって保育をしていきたい。 なるべく4月当初に計画を立てて毎日の保育がスムーズに進められるようにしてきたが、子ども達の様子や同学年での進行がうまくいかないこともあった。 準備ができていると思っていても、できていないことがあった。 見通しをもった保育という点においては段取りが不十分だと感じた。 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> とても自分への評価が厳しく、判断が難しい問題だが、行事を普段の保育とつなげたり、次の活動につなげたりしているのが見られるのでしっかりと意識できていると思う。 常に意識をしていることが、理解できるから良いと思う。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> 保育のつながりを意識して計画を立てられるようにしていきたい。 しっかりと振り返りをする事で次の保育につなげていきたい。 		

保育の在り方・幼児への対応

	内 容	職員	評価員
1	子どもたちが健康で安全に過ごせるよう、十分な配慮をしている	A	A

2	子どもの姿をよみ取りながら、発達に応じた適切な指導を行っている	B	A
3	教師同士が協力しあったり、意見を交換しあったりしながら共通理解をもって対応している	B	B
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢に応じて、自分で出来ることは進んで取り組めるように声かけをしてきた。少しずつ友だち同士で活動を進める意欲が出てきた。 ・発達に応じて適切な対応を心がけてきたが、生長へつながらなかったことが残念だった。 ・子ども達が安全に怪我や事故がないよう過ごせるために、室内で走る子への指導を徹底して行った。また、園外にお散歩で出かける際は担任以外の先生や他学年にお願いして一緒に出られるよう配慮したことで目を配ることもできたと思う。 ・教師同士の話し合いの時間がとれないことが多いが、なるべく話しかけて、聞くようにしてきた。 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに対して、優しく声かけをしてきているのはとても良い。 ・若い先生たちが伸びてきていると感じています。 ・時間が足りない中、頑張って子どもの為に、環境整備をおこなっていると思う。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・時間をつくることは難しいかもしれないが、共通理解をしていく必要がある。 ・一人ひとりが、報告・連絡・相談を密に行い、みんなで、子ども達の為に保育をしていきたい。 		

教師としての資質や能力・良識・適正

	内 容	職員	評価員
1	自分自身の行動が、子どもたちに大きな影響を与えていることを意識し、言動・行動に常に気をつかうよう心がけている	A	A
2	組織の一員であることを自覚し、守秘義務の遵守や、職員同士が信頼しあえる関係を築くための配慮をしている	A	A
3	保育のためのアイデアやヒントを得るため、アンテナを高くし環境と関わったり、情報を得たりする努力をしている	B	A
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者としてのアイデアがまだ足りないと感じる。他の職員や環境から得られることは得て、真似していきたい。 ・保育のアイデアをいろいろな情報を取り入れることができた面ともっとやりたいことはあったができなかったことがあるように感じる。 ・保護者とのやり取りや教師同士の話しやすさを心がけてきた。自分から積極的に話しかける姿勢が足りないと感じた。 ・毎日、落ち着いて行動できるようにしてきたが、自分が慌てて行動してしまい、子どもが落ち着かないことがあったので気を付けたい。 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・研究保育を見させていただき、先生たちが、いろいろなことを考えてやってくれていると思う。 ・自己評価も良いというのが、意識の高さを感じられて良い。 		

課題	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの気持ちの持ち方が大切で、他の職員のアイデアやヒントを参考にしながら、保育に生かしていきたい。 少しの時間でも、お互いに話をして、学年での助け合い、他の職員との共通理解を深めていきたい。
-----------	---

保護者への対応

	内 容	職員	評価員
1	園の方針を理解し、保護者に理解してもらうための努力・工夫をしている	A	A
2	情報を発信するときは、個人・クラス・園全体というさまざまなケースを慎重に見極め、場合によっては園長・主任に相談したうえで適切に対応している	A	A
3	“親しみ”と“馴れ合い”を混同することなく、教育者らしい態度で保護者との関係を築くことを心がけている	A	A
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者へは子どもの園での様子をなるべく伝えられるよう口答や連絡帳で知らせることができた。特に外国籍の方には直接口答や写真を見せて分かりやすく伝える工夫をしたため、安心していただけたと思う。 ・外国籍の方へは行事の時の持ち物など、前もって伝えてきた。心配な場合は、直接伝えるようにしていくことが大切だと思った。 ・子ども達同士のトラブルや怪我の時に保護者への伝え方が悪く理解されないことがあった。主任の先生に相談して対応をしていきたい。 ・園にきてくださった時には必ず声をかけるようにしてきた。外国籍の方の対応が難しいと感じた。 ・保護者対応が難かしくなってきたと感じる。細かい配慮が必要な場面がたくさんあった。少し保護者に寄り添いすぎている所もあるため事実をきちんと伝え事情を知ってもらうことも大事だと感じた。 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の子が多い中、言葉の問題があるのにもかかわらず、頑張っている。 ・先生達の評価が良いのでとても意識があって素晴らしいと思う。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の方には、お手紙だけではなく直接、話をしたり、バスの所で〆切を守ってもらうように声をかけたりと、今後も配慮が必要である。 ・わからないことがあったら、主任等に相談して進めていく必要がある。 		

地域の自然や社会とのかかわり

	内 容	職員	評価員
1	幼稚園での生活が、小学校生活の基盤になることを意識し、小学校の教育内容について意識しようとしている	B	A
2	子どもたちの生活は、地域社会や身近な自然、家庭、園生活がひとつづきのものとして、連続性をもちながら成り立っていることを意識し、直接的・具体的体験ができるよう活動内容を工夫している	B	B
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープには、かなりの回数足を運ぶことができたように感じる。しかし、広場や農園には一年を通してあまり行くことができなかった。 ・農園に行く際に地域の方に会う時は挨拶したり、子ども達も一緒に挨拶したりしてきた。 ・農園活動を通して草を取ることの大切さ、野菜の世話をする収穫体験の楽しさを伝えることができた。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校に行くための準備期間になっていることを意識して子どもと関わりをもっているが就学前にどこまでできるようにするべきなのか明確にしたいと思った。 ・地域とのつながりをもつ機会がほとんどなく、もちつき大会などもなかったため、保護者、役員さんとの関わりが持てなかったことは残念であった。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・モンテッソーリ教育は小学校へのつながりができている活動だと思う。幼稚園で作ったものを自宅にお土産として持ち帰り、保護者も喜んでいると思う。 ・地域社会と関わりは難しいと思う。
課題	・小学校へつながることを意識して保育を行い、いろいろな人との関わり大切さを伝えていきたい。

研修と研究

	内 容	職員	評価員
1	研修会や研究会には自己課題を持って参加できた	B	A
2	常に質の高い教育の実践を求め、与えられた研修に義務的に参加するだけでなく、自己課題を持っての研修・研究を重ねた	B	B
3	モンテッソーリ教育への理解を深め、援助者としての接し方が身に着くよう努力した	B	A
4	幼小の円滑な接続を意識し、幼児教育カリキュラムに基づいた実践が出来るよう、前向きな姿勢で研修に取り組んだ	B	B
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・他クラスの様子や活動の仕方を見ることで自分の保育を見直したり、振り返ったりすることができたことは良かった。 ・職員研修でクラスのテーマや目標を立てて保育を計画的に進めたことで子ども達の成長がみられて良かった。リズム遊びや表現力をテーマとしたことで発表会にもつながり、自信をもった姿が見られた。 ・いろいろな研修に行かせて頂く度に改めて、今の保育のやり方の見直しを感じている。その為、常に意識しておく必要があると感じた。 ・研修で学んだことを保育の中で活かすことがあまりできなかったように思う。自分の保育に取り入れられるように努力したい。 ・研修に行かせてもらったが、自分の声かけ、子どもとの接し方、自分で考えさせる声かけが足りない事を感じた。 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加し、勉強したことをお土産にして、幼稚園に持ち帰り、子ども達に活かしてくれていると思う。 ・意識して研修に参加していることは伝わってくるが、全体的に先生たちが厳しく評価している。 ・モンテッソーリ教育の先生が一人になって、準備等が大変だと感じるが、クラスで一緒に行う先生が勉強して理解が深まってきているので、とても良いと思う。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの為になっていることを考え、今後も研修に積極的に参加していきたい。 ・研修に参加した後は、自分の保育に活かせるようにしていきたい。 		

分掌

<p>反省</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広場の整備は、担当で計画を立てて、草刈りを行ったが、夏場は伸びるのも早いので思うようにはできなかった。そのため、他の職員に手伝ってもらって草を刈ることになってしまった。刈る時期を考えて、取り掛かっていきたいが、夏の暑さと草の伸びの早さに運動会前は厳しい所があった。 ・農園の観察や草取りなどを行い子ども達と野菜の生長をたのしめるよう月1, 2回はお散歩に行きながら、お世話を進めることもできた。収穫・おすそわけもできたことは良かった。 ・プールサイドの見回りをを行い草取りや、ゴミ拾いを行ってきた。冬休みにもう一度、プール掃除を行えば良かったと反省した。 ・分掌については、毎日見回ることが大事だと思う。しかし実際、できないことも多いので葛藤することが多かった。優先順位をつけて行動したい。 ・自分の役割を担当の職員の指示のもと、行ってきた。分からないことを聞きながらこれからもやっていく必要があると感じた。 ・農園担当になり、毎日、朝又は夕方に行けるようにしてきた。なるべく行けるように時間を作りたい。
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広場・ピオトープ・農園などの分掌箇所はとても大変だと感じるが頑張ってくれている。機械を買ってもらってやれるなら良い。 ・ボランティアさんを募ってやれば、良いと思う。
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが分掌に責任を持って行っているが、計画通りにいかないことも多い。できないところは声をかけて環境を整えていきたい。 ・足を運ぶことが大切ということ意識して、なるべく分掌箇所の見回りを行っていきたい。

その他

<p>反省</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、2クラスを主任としてみてきたが、自分のクラスのことを夢中になり相手のクラスの様子が見えていないことがあった。しっかり見ていきたいと思う。 ・伝達事項をうまく伝えられないことが多くあった。また、報告・連絡・相談ができていないと感じるため、分からないことや、自分の判断で動いてはいけないことは、相談しながら行っていきたい。 ・各分掌の担当人数が減ってきているため、今までのように維持していくことの難しさを感じた。 ・ペア活動を多くおこなってきたことでお祭りごっこやカレーパーティーなどの縦割り活動がスムーズで良かったと思う。 ・子ども達の個々への対応、配慮ができていない部分があった。 ・行事の担当になったら早目に取り組んでいきたい。 ・全体をみなくてはいけない立場であるが、気が付いていないことが多くあった。一人ひとりの職員の動き、困っていること、出来ていない部分に気づくなどの配慮ができるようにならなければならないと感じた。
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも先生達はよくみてくださっている。卒園してからも子どもが来させていただきありがたいと思っている。 ・ちどり幼稚園の先生はとても良いと思う。先生や幼稚園が好きという子が多い。
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の反省を来年度に活かせるようにしていきたい。 ・分からないことをそのままにしないように、相談しながら行っていきたい。